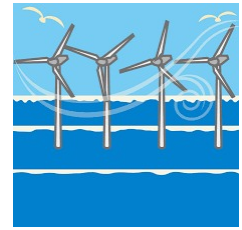


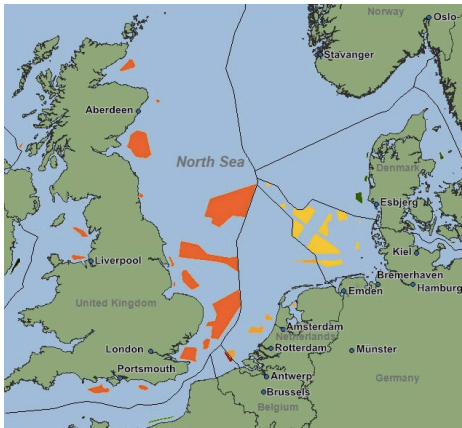
[学習会]

大丈夫？ 洋上風力発電



—あっと驚くヨーロッパとの比較—

石狩湾新港をはじめ全国で洋上風力発電が計画されています。健康や景観に配慮した先進地ヨーロッパと比較し、その違いについて学びます。



北海での洋上風車建設エリア

風力発電は大型化するほど発電効率が良いとされていますが、一方、騒音による周辺住民への健康影響や景観破壊の問題が深刻化します。そこで、風況の良い、海岸から数十 Km 沖の洋上に建設することで、風車の大型化と健康影響・景観問題の回避が可能になり、ヨーロッパでは大陸棚に超大型風車群から成る洋上風車建設が盛んになっています。しかし、日本の洋上風車の計画は 1～2 km 沖で、健康影響・景観に全く配慮されていないのが現状です。日欧比較から日本の洋上風車建設計画の問題点を探ります。

- ◆ **時間** 2019年3月24日（日）
13時30分～15時30分
- ◆ **場所** 石狩市花川北コミュニティセンター
（石狩市花川北 3・2 ☎0133-74-6525）
- ◆ **講師** 安田秀子氏（石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会代表）
- ◆ **費用** 300円（資料代ほか）



手稲山山頂から見える石狩コミュニティウインドファームの風車群

主催・問い合わせ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会
安田（090-6211-1602）

<http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>